

さやまの教育

元気な

さやまっ子



狭山市制施行60周年記念式典に 未来を拓く子ども達が出席

10月18日(土)、狭山市市民会館で狭山市制施行60周年記念式典が挙行されました。



60周年のテーマは「市民とともに60年 未来を拓くわがまち狭山」。この日、未来を拓く担い手である子ども達を代表して、市内の小・中学校と高校、特別支援学校34校から69名の児童・生徒が招待されました。

式典の中でも「皆さんの夢と希望を狭山市に重ねて描いてください。未来の狭山を拓くのは皆さんです」とのメッセージが伝えられ、その言葉に込められた期待を、真剣に受け止めていました。

地域が一つになった

「入曽ふれあいコンサート」



10月26日(日)に南小学校体育館を会場に開催された第9回「入曽ふれあいコンサート」。入曽地区の小中学校の吹奏楽部やバトンクラブ、地域のコーラスサークルなどが発表を行い、多くの来場者でにぎわいました。大トリを飾ったのは、恒例の小・中学校の合同演奏。南小学校吹奏楽クラブと入間中学校、山王中学校、入間野中学校の吹奏楽部が一つになって「アフリカンシンフォニー」「上を向いて歩こう」の2曲を披露しました。

地域の子ども達が生かす音楽を通じてつながった感動的な演奏に、場内の拍手はいつまでも鳴り止みませんでした。

笑いながら手を動かすことは若さの秘訣!?

10月21日(火)／お茶飲みふれあい会(笹井自治会館)

ボランティア「そよ風の会」と地域の皆さんがお雛様を作りました。参加者は作業しながら会話を楽しみ、かわいい人形を完成させました。



「塩分控えめ」は、スパイスでアクセントを

10月21日(火)／健康料理講座(中央公民館)



健康増進と食生活の改善を目的として開催した講座に20名が参加。埼玉石心会病院の管理栄養士と調理師から、旬の食材を使った減塩食を学びました。

狭山の今昔物語 Vol.44 — 市内で初めての歩道橋 —

狭山市は、昭和42年8月に交通安全都市を宣言しました。その翌年の43年5月、現在の狭山市駅西口市民広場付近に、市内で初となる歩道橋が完成。それまで、狭く交通量の多い道路を渡り、急斜面の階段を昇っていた旧入間川小学校の子ども達も安全に通学できるようになりました。



市内でも交通事故が増えてきたところ(昭和43年)



現在は市民広場として、商工祭など様々なイベントを開催

みんな集まれ! ハロウィーンを楽しもう

10月26日(日)／ハロウィーンフェスタ(狭山台児童館)

児童館のメインイベント秋祭り。仮装体験やコスチューム作り、ゲームやスタンプラリーで、ハロウィーン気分を満喫しました。



赤白どちらの旗が上がるかな

仮装した来園者は入園料が2割引に

10月26日(日)／智光山ZOOハロウィーン(こども動物園)

ハロウィーンにちなんでいたるところに手作りのカボチャのランタンが出現し、動物舎やゲートもカラフルな飾りで演出された動物園。

仮装したハロウィーン一色の子ども達は、「ふれあい広場」からケージに帰るテンジクネズミを見送りました。



田園風景を彩るユニークな「かかし」

10月26日(日)～11月3日(祝)／奥富かかし祭り

カラフルでかわいらしいものから大きくて立派なものまで、今年も多く個性豊かな「かかし」が稲刈り後の田んぼに整列。流行や世相を反映した作品も多く、毎年この祭りを楽しみにしている大勢の人でにぎわいました。



ご当地キャラクターや動物の「かかし」に興味津々

ひとまち写真館

あなたが写っていませんか? 広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

木々の中に茶席が映える狭山の風物詩

10月19日(日)／さやま大茶会(狭山稲荷山公園)

今年で25回めとなった「さやま大茶会」。狭山で生まれた抹茶、煎茶の14席がお客様をもてなしました。今年姉妹都市であるアメリカのワージントン市の市長一行も茶席を訪れ、お点前を体験。茶の香りに包まれた秋の一日を楽しみました。



通訳からお点前の説明を受けながら

入間川の秋の夜空が幻想的な世界に

10月12日(日)／灯の川2014(入間川河川敷)

舞台となった新富士見橋から下流のおよそ500mに22,000人が訪れました。来場者は、さまざまな食のブースに囲まれて和太鼓やバンド演奏などを聴きながら、川面に揺らめく「森のろうそくとおかかし」の光、「竹のろうそく」との炎の饗宴に酔いしれました。



「森のろうそく」の点火後は、風を送り火を回します